

【2015年度 第1回】

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科入学試験問題

外国人小論文

〔問題〕

日本政府は、海外からの観光客を増やすために中期目標を作成し、毎年度事業計画を組んで必要な施策を実施している。以下の抜粋資料を読み、設問に答えよ。

〔資料〕

- ・独立行政法人国際観光振興機構 第三期中期目標 基本的な考え方。
- ・同 平成26年度計画。

基本的な考え方

(i)観光立国の実現は、国内外における交流人口を(1)増大させることによって、地域経済の活性化や雇用機会の増大をもたらすとともに、国際的な相互理解の増進を通じて、世界平和への貢献を目指すものである。このため、政府は平成15年より、観光立国実現を掲げ、ビジット・ジャパン・キャンペーンを官民一体で推進し、様々な取組を推進してきた。平成20年には、外国政府や関係省庁への調整・働きかけをより強力に実施し、観光立国を総合的かつ計画的に推進するため、観光庁を設置した。以来、観光庁と機構が日本の観光政策の(2)牽引役として、官民を挙げた取り組みを進めてきたところである。

平成23年3月に発生した東日本大震災は、被災した観光地域に壊滅的な打撃を与え、さらに、国民の自粛ムードや訪日旅行への不安により国内外の旅行者が減少し、全国の観光分野に深刻な影響を及ぼした。一方で、復興を支援するために国内外から寄せられた支援の輪は、多くの観光交流を生み出すきっかけにもなった。

震災直後からの正確な情報発信、主要国政府への働きかけやメディア・旅行会社招請、一般消費者への働きかけにより、訪日旅行需要については、平成24年にはほぼ震災前の水準まで回復した。今後は、平成24年3月に閣議決定した観光立国推進基本計画に掲げた「訪日外国人旅行者を、平成32年初めまでに2,500万人とすることを念頭に、平成28年までに1,800万人にする。」等の国際観光振興に関する目標の実現に向け、機構の海外事務所を中心として、日本の普遍的な魅力と新たな魅力を継続的に世界に発信し、訪日旅行の(3)促進を行っていく。

(略)

平成26年度計画（抜粋）

(1) 訪日プロモーション業務

① 海外事務所を活用した市場動向の収集・調査・分析・提供

海外事務所の海外現地におけるネットワークや社会的ステイタスを(4)最大限に活用して、

世界の主要な市場国・地域における一般消費者の旅行動向、ニーズ等のマーケティング情報をリアルタイムで収集し、市場別に分析を行う。また、その結果について、ウェブサイト、ニュースレター、出版物、セミナー、個別コンサルティング等の様々な方法を通じて、事業パートナー等へ提供することにより、(ii)インバウンドビジネスを支援するサービスの向上を図る。平成26年度は、平成25年度に整備したパートナー情報のデータベースを活用し、パートナーのニーズを組織的に把握・共有し、事業に反映させる。

## ② 訪日外国人旅行者誘致のための業務

海外事務所の機能を最大限に活用し、海外の市場動向、競合国の(5)活動事例や日本における成功事例等の情報を積極的・機動的に収集・分析することにより、マーケティングの高度化を図るとともに、観光庁と共同で策定・公表する各市場別の訪日プロモーション方針・事業計画概要に基づき、観光庁と連携して日本の観光魅力の発信や訪日旅行商品の造成・販売支援等を推進する。国内外におけるネットワークを形成・発展させ、関係者との連携を図ることにより(iii)オールジャパン体制を確立し、訪日プロモーション事業を機動的・効果的に推進する。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた戦略目標及び行動計画を策定し、関係者と連携しながら、その実現に向けた取組を開始する。

## (2) 国内受入環境整備支援業務

### ① 観光案内所の整備支援業務

訪日外国人旅行者の国内受入環境整備を推進するため、外国人観光案内所の認定・支援を行い、ボランティアガイドの活用も視野に入れつつ、外国人観光案内所のネットワーク拡大や更なる質の向上・質の担保を図る。平成26年度は、引き続き認定観光案内所実態調査や研修会を実施するほか、平成25年度に(6)運用を開始した認定観光案内所専用サイトを活用し、先進的な取組事例や参考情報・資料を(7)共有することを通じて、外国人旅行者へ提供するサービスの質の向上を図る。支援の実施に当たっては、外国人旅行者の動向や認定観光案内所のニーズを踏まえ、支援の充実を図ることとする。さらに、(8)地方公共団体等に新たな観光案内所の申請を働きかけるとともに、主要空港・ターミナル駅等に所在する認定観光案内所に上位のカテゴリーへの移行を働きかけ、外国人案内所のネットワークの拡大に努める。

### ② 通訳案内士試験業務

通訳案内士法に基づき、通訳案内士試験の実施に関する事務を行う。(以下、略)

## (3) 国際会議等の誘致・開催支援業務

### ① 国際会議等の誘致支援業務

我が国のナショナルコンベンションビューローとしてのマーケティング機能を強化し、

市場分析、誘致対象のターゲティング、ポジショニング等を踏まえた誘致戦略を策定する。関係者のニーズを的確に反映しつつ、従来からのMICE（Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/ Event の総称）誘致・開催支援業務を一層充実するとともに、観光庁のグローバルMICE戦略都市及びグローバルMICE強化都市育成事業への(9)支援を含め、都市・コンベンションビューローの強化のためのコンサルティング機能の拡充を図ることで、我が国のMICE誘致主体のマーケティング戦略の高度化とその着実な実施に対する支援を行う。(以下、略)

## ② 国際会議の開催支援業務

誘致が決定した(10)国際会議の開催を円滑に進めるため、ノウハウ事例の提供、人材育成、寄附金募集・交付金交付制度の運営等の事業を実施する。

[設問]

問1 (1)から(10)の漢字の読み方を、ひらがなで記してください。

- (1) 増大
- (2) 牽引役
- (3) 促進
- (4) 最大限
- (5) 活動事例
- (6) 運用
- (7) 共有
- (8) 地方公共団体
- (9) 支援
- (10) 国際会議

問2 下線部の用語について資料の内容に沿って説明してください。

- (i) 観光立国
- (ii) インバウンドビジネス
- (iii) オールジャパン体制

問3 資料の中に示されている日本政府の観光に関する数値目標は何か簡潔に説明してください。

問4 平成26年度に日本政府が計画している施策を200字以内で要約してください。

問5 あなたは、日本に外国人の観光客を増やすために、どのような手段が有効と考えますか。300字以内で説明してください。

【2015年度 第2回】

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科入学試験問題  
外国人・小論文

＜注意＞この問題用紙は、問題1、2、3について、4頁にわたり印刷されている。解答を始める前に、問題数と頁数が正しいことを確認せよ。

問題1

＜社説1＞を読み、問1-1と問1-2について、別紙の解答用紙に答えを記述しなさい。

問1-1：

社説1の主張はどのようなことか、社説が示す論拠も述べつつ、150字以上、200字以内で記述せよ。

問1-2：

あなたは社説1の主張に賛成する意見を持ちますか、反対する意見を持ちますか、どちらかの意見を述べよ。意見の記述には、あなたの論拠も述べること。150字以上、200字以内で記述せよ。

＜社説1＞

「社会的インパクト投資」を育てよう（日本経済新聞社説、2014/10/6）

障害者や低所得者への支援など国内外には解決が望まれる数多くの社会的な課題がある。通常、これらの問題解決は政府の仕事だ。民間が投資して利益をあげる分野にはそぐわない。ところが今、「社会的インパクト投資」という社会問題解決と収益の両立を目指す投資が世界的に注目されている。

きっかけは昨年6月の主要8カ国（G8）首脳会議だった。議長国のキャメロン英首相の呼びかけで、社会的インパクト投資促進のため、各国に政府関係者や専門家からなる組織が設けられた。この組織が議論を重ねた結果がこのほど報告書としてまとまった。

報告書は同投資が「多様化・複雑化する社会的課題解決について価値観の大きな転換をもたらすだろう」と解説する。

そして各国政府や投資家に対し「収益をあげながら社会的課題の解決を継続できる社会的企業の育成や環境整備」「リスク、リターンに加え社会的インパクトを考慮した投資の推進」を提言した。

具体的な事例が英国にある。出所した元受刑者の再犯率の高さに悩んでいたある刑務所は投資家から資金を集め、その資金で受刑者に対する再犯防止教育を実施した。社会的企業がそのプログラムの企画、実行を受託している。

成果は出て、再犯率低下が確認された。刑務所は再犯率が下がったことで削

減できる行政コストの一部を投資家に還元するという。

先進各国はどこも財政は厳しく、すべての課題を行政で解決するのは難しい。そこで民間の資金と社会的企業という民間の新たな事業体の出番となる。社会的企業は柔軟な発想でこれまでの行政では思いつかなかった効率的な事業の展開が期待できる。

そこに投資しても大きな利益は望めないかもしれない。しかし、ある程度の収益と「住みよい社会」という配当が得られるのなら、投資を検討する価値は十分にあるのではないだろうか。

日本でもすでに社会貢献を組み込んだ金融商品が登場している。一部自治体ではこのような資金活用の検討も始まっている。休眠預金の資金を利用して社会的インパクト投資の呼び水にしようという構想もある。

一方で、投資した資金がずさんに使われないよう、事業成果をきちんと測定する仕組みなども必要だ。同投資の活性化へ向けた知恵と工夫が求められる。

(<http://www.nikkei.com>、日本経済新聞社説、2014/10/6)

## 問題 2

<社説 2>を読み、問 2-1 と問 2-2 について、別紙の解答用紙に答えを記述しなさい。

### 問 2-1 :

社説 2 の主張はどのようなことか、社説が示す論拠も述べつつ、150 字以上、200 字以内で記述せよ。

### 問 2-2 :

あなたは社説 2 の主張に賛成する意見を持ちますか、反対する意見を持ちますか、どちらかの意見を述べよ。意見の記述には、あなたの論拠も述べること。150 字以上、200 字以内で記述せよ。

## <社説 2>

交流サイト被害 便利な機能には危険も潜む (読売新聞社説、2014/9/30)

見知らぬ人と情報交換する交流サイトをきっかけに、性暴力などの被害に遭う。子供を卑劣な犯罪から守る対策を急ぐ必要がある。

一口に交流サイトと言っても、種類は様々だ。

フェイスブックなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) や、LINE、カカオトークといった無料通話アプリ、友人を募る掲示板などがある。

警察庁によると、交流サイトで知り合った相手から被害に遭った18歳未満の子供が、今年上半期に698人を数え、2008年に調査が始まって以来、最多となった。被害者の9割以上が少女だ。深刻な事態である。

淫行や児童買春、児童ポルノなどの犯罪に巻き込まれるケースが多い。熊本

県では女子高生が殺害される事件も起きた。

人気の無料通話アプリの利用者IDを不特定多数の人と交換できる掲示板が登場したことが、被害を広げている。

無料通話アプリは、IDさえ分かれば、電話番号やメールアドレスを知らなくてもメッセージの交換や通話ができる。IDを安易に掲示板に公開したことがきっかけで、やりとりが始まり、誘い出されて被害に遭う例が目立つ。

面識がないことに乗じ、若い別人の写真を送信して、少女をおびき出す手口もある。少女の方から援助交際を持ちかけるような書き込みも見られる。

LINEは昨年末までに、18歳未満の利用者について、IDしか知らない相手との通話やメッセージ交換をできないようにした。その結果、被害は減少傾向にあるという。他のアプリ事業者にも対策を講じてもらいたい。

出会い系サイトに関しては、子供の性被害を防ぐ規制法が設けられている。サイト運営者の届け出や18歳未満の書き込み禁止の規制がある。しかし、趣味仲間や友達の募集などをうたう交流サイトは、規制の対象外だ。

交流サイトの機能は、連絡手段などとしては便利だが、危険も潜んでいることを、家庭や学校できちんと教える必要がある。

子供の携帯端末から特定のアプリやサイトに接続できないようにする「フィルタリング」も有効だろう。内閣府の調査では利用率は半数程度にとどまっている。設定しているかどうか「わからない」という保護者も約2割に上る。

子供が携帯電話やスマートフォンをどう使っているのか。親はしっかりと把握しておきたい。

(<http://www.yomiuri.co.jp>、読売新聞社説、2014/9/30)

### 問題3

<社説3>を読み、問3-1と問3-2について、別紙の解答用紙に答えを記述しなさい。

#### 問3-1：

社説3の主張はどのようなことか、社説が示す論拠も述べつつ、150字以上、200字以内で記述せよ。

#### 問3-2：

あなたは社説3の主張に賛成する意見を持ちますか、反対する意見を持ちますか、どちらかの意見を述べよ。意見の記述には、あなたの論拠も述べること。150字以上、200字以内で記述せよ。

### <社説3>

テロリスト 生まない土壌つくろう (朝日新聞社説、2014/10/6)

欧米各国や豪州、アジアの若者たちが続々と中東に渡り、イスラム過激派のために戦う。戦闘員として経験を積むと、今度は母国に戻って、市民社会を標

的にテロを準備する――。

このような悪夢が、イラクとシリア国境地帯を本拠とする組織「イスラム国」の伸長で、現実のものとなりつつある。危機感を募らせた欧米などの主導で、国連安全保障理事会は、テロに対する措置を各国に求める決議を全会一致で採択した。

ただ、テロリストを摘発しようと治安対策ばかり強化しても、根源的な解決は導けない。なぜ若者が過激派に走るのか。その土壌となっているそれぞれの国内問題に取り組み、「テロリストを生まない社会」を築く努力が必要である。

そのためには、心理学者や宗教者、教師、カウンセラーら、若者たちと接してきた専門家との協力も求められるだろう。幅広い知恵を結集し、息の長い取り組みを続けてほしい。

「イスラム国」には、約80カ国から1万5千人以上が戦闘員として合流したとみられる。フランスや英国、ドイツなどからは数百人単位に達するという。

それぞれの国のイスラム系移民社会の出身者や、キリスト教からの改宗者が目立つ。多くは、貧困や失業に直面し、差別や偏見を受けて、母国で疎外感を抱いた若者たちだ。彼らに対して、過激派の巧妙な勧誘と宣伝が功を奏している。

安保理の決議は、このようなテロリストが国境を越えて移動するのを防ぐよう、各国に要請した。

確かに、テロを防ぐ司法・治安対策と、それに向けた各国の連携は必要だ。ただ、取り組みを進めるうえでは、細心の注意が求められる。目的を追求するあまり、それぞれの国が培ってきた市民の自由や人権が損なわれてはならないからだ。

テロ組織は暴力的で、動きも見えにくい。そのような相手に民主的な手法で対抗するのは、極めて難しい作業だ。

だとしても、欧米がテロ組織と同じレベルに立って力で応じれば、民主国家としての存在意義が問われるだろう。

ジレンマを抱えての、難しい戦いである。民主国家の耐久力が試される。

自由や人権の確保と、テロ対策とを、どう両立させるか。開かれた議論を重ねつつ、解決策を探る姿勢が欠かせない。

ボーダーレスのいま、日本人が攻撃に遭う可能性もある。テロと向き合う国際論議に私たちも積極的に参加すべきだ。

(<http://www.asahi.com>、朝日新聞社説、2014年10月6日)



## 【2015年度 第3回】

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科入学試験問題

外国人・小論文

I 以下の文章を読んで、あとの<設問1>～<設問5>に答えなさい（\*原典の一部を編集してある）。

「ある老人ホームでの実験」

コネチカット州の (A) 高齢者介護施設アーデンハウスで1967年に行われた研究から、この答えの手がかり（「自由選択の大切さ」）をいくつか得ることができる。(B) 心理学者のエレン・ランガーとジュディス・ローディンは、65歳から90歳までの入居者の自己決定権の認識を操作する実験を行った。施設の世話係が、二つの階の入居者を別々に集めた。

ある階の集まりでは、まず入居者一人ひとりに鉢植えを配り、鉢植えの世話は (C) 看護師がしてくれると伝えた。次に、映画を木曜と金曜に上映するので、どちらかの日に映画が見られるよう予定を組んで連絡すると言った。またほかの階の入居者を訪ねておしゃべりをしたり、読書、ラジオ、テレビなどを楽しむことが許されていると説明した。このときのメッセージの趣旨は、入居者にはある程度の自由は許されているが、かれらの健康は有能な職員が責任を持って管理する、というものだった。これは当時の介護施設としては標準的な方針であり、今なおそうである。(D) 世話係はこう言った。「この施設を、みなさんが誇りに思い、幸せを感じられるような家にするのがわたしたちの務めです。みなさんのお世話をするために、努力して参ります」

次に世話係は、別の階の入居者を集めた。だが今回は、一人ひとりの入居者に好きな鉢植えを選ばせ、鉢植えの世話は自分でするようにと伝えた。それから映画上映会を毎週木曜と金曜に行うことを告げ、どちらの日に見てもいいと言った。またお互いの部屋を訪ね合って思い思いにおしゃべりしたり、読書、ラジオ、テレビを楽しむなど、好きなように時間を過ごして下さいと言った。このように世話係は全体として、この新しい家を楽しい場所にできるかどうかは、入居者次第だということを強調した。「みなさんの人生ですよ。どんな人生にするかは、みなさん次第です」

このようにメッセージは違ったが、施設の職員は二つの階の入居者をまったく同じように扱い、同じだけの世話をした。それに、二番目の集団の入居者だけに与えられた選択は、一見ささいなものだった。どの入居者も鉢植えを一つずつ与えられ、木曜であれ金曜であれ、週に一度同じ映画を見たからだ。①それなのに三週間後の調査では、選択の自由度が大きい入居者は、そうでない入居者に比べて、満足度が高く、生き生きとして、ほかの入居者との交流も盛んだった。

三週間というこの短期間にも、「選択権なし」の集団では、入居者の70%以上に身体的な健康状態の悪化が見られた。これに対して「選択権あり」の集団では、90%以上の入居者の健康状態が改善した。六ヶ月後の調査では、大きな自由度を与えられた、いや実は、自由度が大きいという認識を与えられた入居者の方が、死亡率が低かったことが判明した。このように介護施設の入居者は、多分に象徴的な選択の自由を手にするこ

な恩恵を受けた。かれらは自分を取り巻く世界を、多少なりとも自分でコントロールしたいという、生まれながらの欲求を行使できた。その結果、動物園の檻に入れられた動物や低位層の公務員が経験することの多い、ストレスや不安を感じずにいられたのだ。この研究が教えてくれるのは、たとえささいな選択であっても、頻繁に行うことで、「自分で環境をコントロールしている」という意識を、意外なほど高めることができるということだ。

これは、ささいなストレスが徐々に蓄積していくと、たまの大きなできごとが引き起こすストレスより、大きな害をおよぼすようになるという裏返しだ。さらに意義深いのは、自分や他人に選択の自由を与えることで、それに伴う (E) 恩恵を与えることもできるということだ。行動をちょっと変える、たとえば自分の力を際立させるような方法で話したり考えたりするだけで、自分の精神的、肉体的状態を大きく変えられるのだ。

精神力で困難を乗り越えようとする患者の姿勢について、これまでさまざまな研究がなされている。ガンや HIV のような悪性疾患との (F) 闘病においても、回復の見込みがないことを断固として受け入れない姿勢が、生存確率を高め、再発の可能性を減らすか、少なくとも死を遅らせることがあるという。たとえばガンの研究・治療を専門とする世界で初めての病院、イギリスの王立マーズデン病院で行われた研究がある。この研究によれば、(G) 無力感と絶望感が高い乳ガンの患者は、そうでない患者に比べて、5年以内に再発または死亡する確率が著しく高かった。この傾向が、まだ有効な治療がなかった頃の HIV 患者にも見られたことを、さまざまな研究が実証している。「無力感が強い」と回答した HIV 患者は、HIV からエイズを発症する確率が高く、エイズ発症から死亡までの期間も短かったのだ。だが、病気との向き合い方が、身体の健康に直接的な影響をおよぼすなどということが、本当にあり得るのだろうか？

医学界では、この問題をめぐって白熱した議論が繰り広げられている。だが一つははっきり言えるのは、人は可能な限り選択の自由を求めるということだ。わたしたちは、自分の人生を前向きにとらえれば、状態がきっと良くなると信じたいのだ。それに、たとえ身体が快方に向かわなくても、気分は良くなると信じる理由はたしかにある。

たとえばカリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) で行われたある研究では、乳ガン患者の三分の二が、自分の病気の進行を自分の力でコントロールできると信じていた。またそう答えた人の三分の一以上が、大いにコントロールできると考えていた。

このような意識は、たとえば果物や野菜をもっと摂るといった、行動の変化を引き起こすことも多かったが、純粋に心の作用として表れることの方がずっと多かった。たとえば (H) 化学療法を、ガン怪獣のかけらを粉砕する大砲に見立てる、というようなことだ。患者は自分にこうも言い聞かせていた。「これ以上絶対にガンをふやさない」。こうした信念がどれほど理屈に合わなくても、自分の病気を大いにコントロールしているという信念が強い患者ほど、幸福度が高かった。実際、自分に病気に勝つ力があると信じたいという患者の欲求は、病める人も健やかな人も、若い人も、だれもが (I) 本能的に必要とする、②人生に対する自己決定権への渴望なのである。わたしたちはどんなに (J) 悲惨な状況にあっても、自分の人生を、自分の力で選択でき、コントロールできるものと見なしたいのだ。

(出典：イーナ・アイエンガー著『選択の科学』文芸春秋、2010年)

解答はすべて解答用紙に記入すること。

<設問1>

文中で下線を引いた漢字 (A) ~ (J) は、日本語でどのように読むか? 「ひらがな」で答えよ。

- (A) 高齢者
- (B) 心理学者
- (C) 看護師
- (D) 世話係
- (E) 恩恵
- (F) 闘病
- (G) 無力感
- (H) 化学療法
- (I) 本能的
- (J) 悲惨

<設問2>

つぎの単語と「逆の意味」の言葉 (漢字) を文中から探してきて答えよ。

- (X) 精神的
- (Y) 死亡確率
- (Z) 間接的

<設問3>

下線部①で、「選択の自由度が大きい入居者は、そうでない入居者に比べて、満足度が高く、生き生きしていて、ほかの入居者との交流も盛んだった」のはなぜなのか? その理由を、200字以内に説明せよ。

<設問4>

この挿話は、実際の企業経営 (マネジメント)、とくに人的資源管理 (HMR) においてどのような意味を持っていると考えられるか? あなたが企業の人事担当者になったとして、従業員のモチベーションを高める方法として、「鉢植えを自分で世話するように仕向ける」事例を具体的に列挙せよ (最大3つまで)。

<設問5>

下線部②のように、「人生に対する自己決定権への渴望」がよい結果をもたらした事例を、本文の中からそのまま抜き出して答えよ (全部で200字以内)。

II 以下の説明文を読んで、<設問6>と<設問7>に答えよ。

同じ書籍 (『選択の科学』) の中で、著者のアイエンガー女史は、「選択肢の多さ」を操作

する別の実験を試みている。有名な「ジャムの実験」と言われるものである。簡単に説明すると、以下のようになる。

#### 「ジャムの実験」(要約)

米国カリフォルニア州サンフランシスコ市にある「ドレーガーズ」という高級スーパーで、ジャムを試食させる比較実験が行われた。店内に試食コーナーを設けて、ひとつの組(顧客グループ)には、24種類のジャム(大きな品ぞろえ)を提示した。もう一つ組(顧客グループ)には、6種類のジャム(小さな品ぞろえ)を用意した。陳列量は同じで、選べるジャムの種類が違うだけである。ただし、いつも来店客が購入しそうなイチゴ、ラズベリー、ブドウ、マーマレードの4つは実験から外した。

この実験の結果、ふたつのことがわかった。ひとつは、大きな品ぞろえ(24種類)の方が、試食コーナーに立ち寄る人が多かったことである。24種類のジャムがあるときは、通過客の約60%が試食コーナーに立ち寄ったが、小さな品ぞろえ(6種類)では、40%しか立ち寄ってくれなかった。

ところが、試食した顧客のうち、実際にいずれかのジャムを購入してくれた割合は、小さな品ぞろえ(6種類)のグループの方が高かった(平均で30%)。それに対して、大きな品ぞろえの場合は、いずれかのジャムを購入した割合は、わずか5%だった。

#### <設問6>

ジャムの種類が多い方(24種類)が、試食コーナーに立ち寄る率が高いのはなぜか?その理由を100字以内で答えよ。

#### <設問7>

それとは逆に、ジャムの選択肢(種類)を絞り込んだほうが、最終的に売上が高くなったのはなぜなのか。その理由を推論して、200字以内で答えよ。